



「景観」の新たな可能性を探るために  
**地域再発見！ワークショップ**  
 8/26開催 会場：山村開発センター

豊かな水を供給する水源地の役割

と茶畑に代表される美しい景観

# 誇れるものがある ということ。

川根本町の誇るもの。

それは、古来から受け継いできた水源  
 そして、大井川を中心とした、この地  
 誇りと使命、魅力とが紡ぎだす、無限  
 ここにもまちづくりの一つの形があり

地を守る「番人」としての使命。  
 域特有の魅力あふれる景観。  
 に広がる可能性。  
 ます。



水源地域としての誇りを後世に伝えるために  
**人へ！未来へ！接岨湖フェスタ**  
 8/26開催 会場：長島ダム周辺

静岡県で取り組まれている「地域が誇れる景観」づくりのためのモデル研究事業に「大井川流域」が選定され、平成18年～19年度の2カ年をかけて4つの機関が研究に取り組んでいます。研究では、川根町・川根本町を対象として、景観としての大井川の魅力、広がる茶園と集落の関係など、この地域特有の地形などを研究材料とし、地元の人々と交流しながら、「外」の視点から、この地域の魅力を探りました。

8月26日、この研究成果の中間発表と、景観に関心を持つ多くの参加者を交えた意見交換会が実施されました。大井川の辿ってきた歴史や、大井川とともに生きる人々の暮らしの変化、茶園と里山を総合的に考えた景観の魅力など、この地域が持つ大きな可能性について発表がなされました。

また、参加者全員が3つのテーマに分かれたワークショップでは、川根茶や大井川に誇りを持つ意見や、町の将来を不安視する意見などが出され、流域の可能性と課題を考える意見交換会となりました。

「大井川や茶畑」ここにしかない  
 景観をどのように活かしていくか



参加者全員が顔を合わせて意見を交わしました 左から「集落」、「森・里・川」、「お茶」のワークショップの様子です

「水と森の番人」として、水源  
 地域の誇りを後世に引き継いで  
 いくための催し

川根本町には、大井川源流部の原生自然環境保全地域（本州唯一）、山犬段周辺の原生林などに代表される豊かな森林、大井川の清流など、貴重な自然環境があります。水源地域の森や自然の大切さ、水と森の番人であるという意識を風化させることなく、後世に引きついでいくための催しを行っています。

昨年の全国イベントに引き続き開催された今年の催しでは、長島ダムふれあい館を会場として、大井川・接岨湖で採取された流木を使った工作教室、雄大な湖面を感じるカヌー体験、大井川の流れをイメージした流しそうめん、自然にある素材を利用した草笛教室など、水源地域ならではの催しが行われました。

また、長島ダムの見学会や、ふれあい館内での大井川流域のパネル展示など、大人から子どもまで、楽しみながら水源地域を学ぶ1日となりました。



大井川をイメージした長い流しそうめん

木工工作教室にはたくさんの子どもたちが参加

湖面をわたる風を感じよう カヌー体験